

### 小田凱人選手、全仏オープン優勝!

6月10日に、フランス・パリのローラン・ギャロスで、全仏オープンテニスの車いす部門の男子シングルス決勝戦が行われ、一宮市出身の小田凱人(おだときと)選手が史上最年少で四大大会を制覇されました。心からお祝いを申し上げます。大変重い病気を克服し、厳しい練習を重ねての車いすテニスの世界一、県民にとっての誇りとなるとともに、障害に対する理解を深めることにもつながります。今後とも、世界の大舞台で活躍されることを期待しています。



### 「森井もとし」後援会からのお知らせ

## 秋の日帰りバス旅行のご案内

- 旅行日 **10月31日(火曜日)**
- 旅行代金 **11,000円**
- 申込締切 **10月10日(火曜日)**

「日帰りバス旅行」を4年ぶりに開催させていただきます。今回は世界遺産東寺の特別拝観や紫式部が源氏物語を執筆した蘆山寺をめぐる日帰り旅行を企画いたしました。是非お誘いあわせの上ご参加をお待ちしています。



行程

守山各地(07:00頃)→鈴鹿SA→草津PA→世界遺産東寺(小子房・金堂・講堂)→京料理 花ごころ(昼食)→京つけもの もり(工場見学・試食・お買い物)→蘆山寺(紫式部邸宅跡/源氏の庭見学)→土山SA→大山田PA→守山各地(18:30頃)

### 冬のコンサート

「冬のコンサート」を開催決定しました!  
演目は未定ですが、是非、予定を開けておいて下さい!  
開催日時: **11月17日(金曜日) 午後3時 開始(予定)**  
開催場所: **小幡文化小劇場(アクロス小幡)**

申込方法 **TEL 052-796-7311 FAX 052-796-7312**

- ◆ 森井もとし事務所にTelにて予約ができます。(受付 月~金 10:00~17:00)
- ◆ 森井もとし公式LINEアカウントに登録して、予約もできます。
- ◆ ご連絡先を記入してFAXして頂いても承ります。

| 参加イベント | 代表者氏名 | ご住所 | ご連絡先電話番号 |
|--------|-------|-----|----------|
| バス旅行   | 様     |     |          |
| 参加人数   | 計 名   |     |          |



森井もとし  
公式LINE

## 発行元 森井もとし事務所

〒463-0015  
名古屋市守山区西島町1-1  
電話 052-796-7311  
FAX 052-796-7312  
E-mail [info@morii.org](mailto:info@morii.org)



森井もとし

### 森井もとしプロフィール PROFILE

- 1963年6月生まれ ■ 名古屋市立大森小、中学校卒業
- 米国パークシャー高校、米国ボストン大学心理学部卒業
- 伊国グレゴリアン大学大学院修士号取得
- 古川元久さんと出会い、政治を志す
- 2001年7月 参議院議員大塚耕平公設第一秘書
- 2003年4月 愛知県議会議員(守山区)
- 2011年6月 愛知県の金融機関の海外進出顧問、アセアンで電源開発、工業用地開発会社顧問
- 2015年4月 愛知県議会復帰(3期目)民主党愛知県議団政策調査会長
- 2016年 健康福祉委員会 委員長 ■ 2018年4月 新政あいちに参画
- 2020年5月 産業イノベーション推進特別委員会 委員長
- 2021年5月 新政あいち県議団 幹事長



## 2023 夏号 あいち県政レポート

愛知県議会議員 声が形になる県政!

# 森井もとし



4月に行われた県議会議員選挙で再び守山区の愛知県議会議員の議席をお預かりさせて頂きました。

産業の発展の果実が福祉の充実を生み、充実した福祉がヒト、モノ、カネを愛知に呼び込む「好循環な愛知県政」の確立、そして、前例に捕らわれず、新しい答えを県政に見出していくために、ひき続き地域の皆様の「声が形になる県政」の活動を全力で進めてまいります。皆様のさらなるご指導、ご支援をお願い申し上げます。

### ▶「あいち民主県議団」として新たなスタートを切ります

4月に行われた統一地方選挙で「新政あいち県議団」という会派の名称がわかりにくいとの指摘が多数寄せられたことを受け、この度、会派の名称を「あいち民主県議団」と変更し、新たなスタートをきりました。

尚、地域政党「新政あいち」は、今まで同様に所属する国政政党にかかわらず、改革の志を共にする仲間の県、市町村の地方議員が一つに結集し、地域に根差した政策の実現を目指し、さらに充実した活動を展開してまいります。

### ▶新しい県議会議員による本格的な論戦がスタート

改選後初となる臨時議会が5月22日に招集され、愛知県議会の議長等議会役員を選任しました。またこの臨時議会には物価高騰対策として教育施設や中小企業に対する補助金の財源約178億円の補正予算を可決しました。

6月19日からは7月6日までの日程で6月定例愛知県議会が開催され、愛知県独自の愛知県「少子化対策パッケージ」として出産・子育て支援、少子化対策をはじめ特別支援学校の教室不足の解消、6月2日の大雨被害への対応予算など補正予算約73億円を可決成立させました。

また、今議会では、厚労省に復帰する佐々木菜々子副知事の後任として、同じく厚労省の牧野利香 統計・情報総務室長(51)を登用することを決定しました。牧野副知事の登用により愛知県では6代連続で厚生労働省出身の女性官僚が副知事に就任することになり、福祉の充実に強力に取り組んでまいります。

### 「ジブリパーク」がさらに楽しくなります

愛・地球博記念公園では今年度中に、ジブリパークの「もののけの里」と「魔女の谷」の2エリアが順次開園します。これに合わせて県では、映画「猫の恩返し」に登場する猫王の城をモチーフにした、滑り台、迷路及びターザンロープなどで構成される遊具を整備し、ジブリパークのチケットを持っていなくても、小学生以下の子供たちが楽しめるよう、芝生広場に設置し、夏休み期間中の8月4日(金)に供用開始する予定です。



【使用料の額】  
・平日:無料 ・土日休日等:有料

| 区分         | 単位      | 使用料の額 |
|------------|---------|-------|
| 小学生以下の者(※) | 1人1回につき | 100円  |
| その他の者      | 1人1回につき | 300円  |

※4歳未満の者は無料

●問合せ先  
県都市・交通局公園緑地課管理第一グループ  
(052)954-6525(ダイヤルイン)

# 県政トピックス TOPICS

## 愛知県「少子化対策パッケージ」

出産・子育て支援の取組を強化し、少子化対策をさらに推進します

<男性の育児休業取得を促進する中小企業等への支援>

【支給対象】男性従業員が通算14日以上の育児休業を取得した県内中小企業等

【支給額】通算14日以上:50万円、通算28日以上:100万円(1事業者につき1回限り)

<低所得世帯への子育て支援>

2023年4月1日以降に1歳6か月又は3歳に達した児童(※)を養育する、児童扶養手当受給者又は市町村民税均等割非課税世帯の者

※1歳6か月児健診又は3歳児健診を受けた児童

【支給額】児童1人当たり5万円

<さまざまな問題を抱える妊産婦への支援>

不安を抱える妊婦等に対するSNSを活用した相談支援及び産科受診同行等のアウトリーチ型相談支援の実施、多胎児家庭を対象とした交流会の開催、健やかな妊娠・出産を支援するためのポータルサイトの開設等



| 時期         | 給付金 | 備考  |
|------------|-----|-----|
| 妊娠         | 5万円 | 国制度 |
| 出産         | 5万円 | 国制度 |
| 1歳6か月児健康診査 | 5万円 | 県独自 |
| 3歳児健康診査    | 5万円 | 県独自 |

問合せ先 県福祉局子育て支援課子ども政策グループ 052-951-6106(ダイヤルイン)

## 「空と道がつながる愛知モデル2030」

愛知県が昨年12月に策定した「革新事業創造戦略」の枠組みによる、第1号の官民連携プロジェクトとして、あいちモビリティイノベーションプロジェクト「空と道がつながる愛知モデル2030」を立ち上げました。本プロジェクトは、物流ドローンや空飛ぶクルマ等の「空」モビリティの社会実装の早期化や、自動運転車両との同時制御など、人やモノの移動に境界がなくなる愛知発の新しいモビリティ社会の構築を目指すものです。



### ◆実証実験の実施

- 山間部における自動運転車両とドローンの荷物受け渡しの実証
- ドローンを活用した病院への物資の運搬及び病院から被災地への物資の運搬の実証
- デジタルマップの構築及びドローンの飛行実証

問合せ先 県経済産業局イノベーション企画課事業創出グループ 052-951-7424(ダイヤルイン)

## 2026年アジア競技大会・アジアパラ競技大会について

大会へは、野球・ソフトボールと空手の2競技をアジア・オリンピック評議会(OCA)に提案することとなりました。

また、競技会場については、競泳/飛込と馬術を東京の会場に変更し、水球をレインボープールに変更することが決定されました。会場の仮設整備費等に多額の費用をかけず、既存施設を有効に活用し、華美・過大ではない、新たな国際スポーツ大会の在り方を世界に示すとともに、多くの皆様がスポーツの素晴らしさを再認識し、アジアとの交流を促進する大会をめざします。

あわせて、組織委員会内に外部有識者で構成するコンプライアンス委員会を設置し、ガバナンス体制の強化も進めてまいります。

県民・市民の皆様はもとより、県内外の関係自治体や大学、企業等としっかり連携し、オールジャパンで大会を盛り上げてまいります。

※小幡緑地では自転車競技のうちマウンテンバイクの競技が開催される予定です。



問合せ先 県スポーツ局アジア・アジアパラ競技大会推進課調整グループ 052-951-6845(ダイヤルイン)



## 森井もとし議員(守山区)が質問に立ちました

改選後初めての本格的な論戦となる愛知県6月定例議会の一般質問で、「あいち民主県議団」の一番手として森井もとし議員(守山区5期)が質問に立ちました。

### ギャンブル等依存症の予防教育について

「全国ギャンブル依存症家族の会 愛知」の皆さんと懇談し、依存症を発症してからの対応ではなく、そこに至らせないための予防こそが、この治療がむつかしい病気に対する最善の対策だとの「声」を聴かせていただいた。今日、スマートフォン等のICTの普及、そしてコロナ過を経てギャンブル依存症は低年齢化している。なるべく早いタイミングから予防教育に取り組むべきだ。

➡ **教育長答弁** 依存は、年齢が低いほど、陥りやすく、様々な健康問題や社会的問題を引き起こすため、授業の中で予防に向けた教育に力を入れているところである。教員を対象とする会議や研修会、研究会において見識を深め、授業で活用することにより、効果的な予防教育が行われるよう、しっかりと取り組んでいく。



## 「ギャンブル依存問題知って」家族の会の女性3人

この日の本会議には、「全国ギャンブル依存症家族の会愛知」の女性メンバー3人が傍聴席にいた。写真。「長年、抱えてきた問題を取り上げてくれる」と知り、議論を聞きに来た。

3人とも息子や元夫の依存症に悩まされた経験がある。森井議員は20代の相談が増えていると指摘。「若者の予防教育にどのように取り組むのか」とただした。教育長らの答弁に、代表の松本知美さん(47)は「対策をやると言



ったのは一歩」と評価。一方で、ほかの人からは「当たり障りないね」との声も漏れた。成人年齢が18歳に引き下げられ、若者のクレジットカード作成や借入れ

契約は簡単にできる。ネット上で公営ギャンブルの利用も増加傾向だ。メンバーの女性(56)は、依存症になった20代の長男の失踪や自殺未遂に苦しんだ。「親が気付くころには手遅れです。でも勇気を出して相談したから今がある」と話した。

依存症の患者を持つ家族は、長い時間をかけて向き合っていく。苦しむ家族を減らすため、政治や行政に求めることはたくさんあると言う。「もっともっと問題を知ってほしい」。3人はそう話し、議場を後にした。(安福晋一郎)

中日新聞6月23日 朝刊 県内版

### 警察手数料におけるキャッシュレス決済の推進について

免許の更新や車庫証明の取得など警察行政では、県民の皆様が手数料をお支払い頂く機会が大変多い。今日の社会情勢を鑑みると、警察行政でのキャッシュレス決済の導入は不可避となってきていると考えるが、県警察はキャッシュレス決済についてどのように考えておられるのか警察本部長にお伺いします。

➡ **警察本部長答弁** 県警察では運転免許試験場や各警察署において来年4月までにはキャッシュレス決済が可能となるよう必要な準備を進めている。今後も県民の皆様への利便性向上のために取り組みを進めていく。



※新聞各紙に掲載されましたので、中日新聞の記事を掲載します。

**県警キャッシュレス決済導入**  
来年4月 免許更新手数料など

「紙幣による納付に加え、クレジットカード、交通系ICカードなどの電子マネー、QRコードなどのコード決済でも納付できるようにする」と述べた。来年3月までに必要な機器などを整備するとしている。

経済産業省によると、二〇二三年のキャッシュレス決済比率は国内で36%。警察のキャッシュレス決済は警視庁などが導入している。県警は多様な納付方法を提供して、県民の利便性の向上につなげたいとしている。(池山航一郎)

中日新聞6月23日 朝刊 県内版